

元気が出る

なんれん くしろ

KUSHIRO

HSK



昭和48年1月13日 第3種郵便物認可
HSK 通巻第343号

発行 平成12年10月10日
毎月10日発行 / 一部 100円
(会費・協年会費に含まれています)
編集 財団法人 北海道難病連鋼路支部
発行 北海道身体障害者団体定期刊行物協会

No.30

歩

『ライブコンサート』

なんれんくしろ編集委員 橋本 秀子

私たちのバンド“ダンボーラーズ”が十月一日、長男の学校の「鳥小バザー」によばれ、体育館ステージでのライブコンサートに挑んだ。六本の管楽器と三個のリズム楽器で、いかに楽しんでもらうか！

当日、本番五分前、体育館の中では、やきとり、うどんなどの出店やゲームコーナーなどで大いに賑わっている。顔見知りのお母さんや子供たちが手を振ってくれた。ちよつと緊張してきた。

いよいよ本番。一曲目、二曲目、テンポの速い曲になっても、

なんとなく手応えが今ひとつ。

「つまんないのかな」と思うと、トチツてしまう。後半ちよつと乗ってきてくれたけど、アンコールはかからなかった。

演奏終了後、メンバーに聞くと「できは悪くなかったよね。みんな楽しんでくれたかなあ」と。

この気持ちはしばらく後を引きそう。でも、これも経験、と切り替える。

今度は次男のバザーだ。「わたあめ屋さん」頑張るぞ！

| | |
|----------------------------|----|
| 巻頭言「ライブコンサート」 | 1 |
| 10年越しのウエディングドレス | 2 |
| 全道集金報告 | 3 |
| 「さわやか通院介護の現状とボランティア募集について」 | 4 |
| 特集「我が街 私のいち推し！」 | 5 |
| 行事報告 | 7 |
| 部会報告 | 9 |
| 参考資料 | 12 |
| あとがき | 14 |

全道集會報告

第27回、難病患者・障害者と家族の全道集會が8月5日(土)、6日(日)の2日間、函館市に於て開催されました。函館での開催は16年前、「青函連絡船十和田丸」で行なわれており、多くの参加者を感じさせてくれました。今回は2

回目の開催となった訳です。地域支部が大きな催しを担うということは、大変責任もあり、準備も長くかかる事業です。函館支部役員はじめ、会員皆さんに心よりのご苦勞様、そして、有り難うを申し上げたいと思います。(文責 渡部)

全道集會プログラム

◆レセプション

8月5日(土) 18:30~20:00 函館国際ホテル 2階「天平」

◆分科会

8月6日(日) 9:00~11:30

◆同時開催 阿部重宣写真展(がんばれ難病患者日本一周激動マラソン)

8月5日(土)、6日(日) 9:00~17:00

函館市総合福祉センター(あいよる21) 4階ふれあい広場

◆全体集會 函館市総合福祉センター(あいよる21)

5階多目的ホール

○黙禱…司会/常任理事 後藤篤子

(もやもや病の患者と家族の会北海道ブロック)

○函館支部挨拶…支部長 佐藤秀臣 (北海道肝炎友の会)

○主催者挨拶…代表理事 小田 隆

(全国心臓病の子供を守る会北海道支部)

○感謝状贈呈…がんばれ難病患者日本一周激動マラソン

○患者・家族の訴え(体験発表)

①「難病との出逢い、そしてこれから」…小倉美代江

(全国パーキンソン病友の会北海道支部)

②「突然“難病”の2文字が響きわたり」…猪俣ともえ

(全国膠原病友の会北海道支部 家族)

○来賓のご挨拶、ご紹介

○祝電・メッセージのご紹介…常任理事 三森礼子

(全国膠原病友の会北海道支部)

○基調報告…専務理事・事務局長 伊藤たてお

(全国筋無力症友の会北海道支部)

○部会・支部の紹介

○集會アピールの採択…朗読/函館支部 柏 真紀

(日本二分骨椎協会北海道支部)

○閉會の挨拶…常任理事 杉山清美(北海道後縦帯骨化症友の会)

『全道集會参加報告』

リウマチ友の会 木村 紀美子



函館は、釧路から遠い所。でも私は、親戚もいますので佐藤支部長、小栗副支部長、会員の荒川さんと共に参加して参りました。国際ホテルでのレセプションでは、地域作業所の皆さんのYOSA OIソラン、又、こぶし座の「江差餅つき囃し」を楽しみました。本日の餅がつかれ会場にばらまかれました。翌日の分科会では、函館の早坂内科クリニックの院長、早坂 隆先生による「慢性関節リウマチの薬物療法と注意点」と題した医療講演会に出席。大切な知識を勉強することが出来ました。



午後からの全体集会の中では、パーキンソン病、膠原病の家族の方の体験発表がありました。「身体は病んでも、断じて心まで難病患者にはなりたくない。皆で力を合わせれば何かひとつは出来る。」という事をおっしゃっていました。全くその通りだと思いました。 函館支部の皆様は、大変ご苦勞をされてこの集会の準備をしてきたと、リウマチの仲間の方からお聞きしました。二日間に亘って、たくさんのボランティアの皆さんのご協力も有難いことでした。

このような大きな集会を準備、運営するのは、とても労力が必要です。けれど、これから難病患者を切り捨てる国の政策をさせない為にもこのような集会は大切と痛感した二日間でした。ひとつでも多くの病気の原因、治療法が解り、難病が難病でなくなることを願って、会場を後にしました。

『さわやか通院介護の現状とボランティア募集について』

日頃より、(財)北海道難病連釧路支部の活動に深いご理解とご支援を頂き、心より感謝申し上げます。

さて、通院介護支援センター「さわやか通院介護」は昨年6月1日に(財)北海道難病連釧路支部と釧路地方腎友会が通院が困難な透析患者など難病患者の為に設立いたしました。

ボランティア会員には同じ難病患者・透析患者自身のほかに、ご家族、一般市民の方がおり、参加協力を頂いております。

昨年は、利用会員9人(登録13人)、ボランティア15人(登録21人)で、月平均送迎回数(6月～11月)は106回でした。今年度は4月より現在まで、利用会員13人(登録14人)、ボランティア15人(登録21人)で、月平均送迎回数(4月～8月)は126回です。

今年度になり、利用会員が4人増えましたが、ボランティアの人数が昨年と同じ為、利用会員一人当たりの希望送迎回数に対する実施送迎回数が少なくなってきています。

実施後1年4ヶ月経ちますが、利用会員には、送迎の対応経済的負担の面で大変喜ばれています。

現在は、利用会員の増加に伴い、ボランティア会員が不足となってきております(現在登録21人の内 難病患者・透析患者自身が11人、一般10人が登録されています)。「さわやか通院介護」ではボランティア会員としてご協力いただける方を広く募集しております。

皆さんのわずかな『時間』を多くの通院に困っている『患者』さんのために生かしてみませんか? ご連絡お待ちしております。

連絡先

『さわやか通院介護』

Tel 25-2012 Fax 25-2042

我が街 私のいち推し!

今回の『特集』は、各部署の皆さんに、「我ら釧路人、私のいち推し！」をテーマに、道東の穴場どころをアンケート形式でお伺いしてみました。

アンケート内容

- ① いつ頃ですか?
- ② どこに行きましたか?
- ③ おすすめの内容は?

皆さんご存じの所もあれば、まだ知らないところもあると思います。

これを参考に秋の釧路を散歩でもされてはいかがですか?

小栗 恒穂さんのいち推し

- ① 現在まで
- ② カレー専門店 からす亭
(元赤トンボ主人)
釧路市中園町7の16
営業時間 午前11時から
午後9時まで
③ メニューが豊富。いち推しは
シーフードカレー。エビ、ホ
タテの入った海鮮カレー(8
80円)これだけで満足

《薬味のオニオンがまた泣かせます。牛
タンのカレーも絶品です、一度お試し
あれ。》



野澤 美奈子さんのいち推し

- ① 学生時代から。
- ② タケザキ精肉店
釧路市興津1の14の4
- ③ 友人の両親が経営しているお
店で、カレーコロッケとザン
ギがすごく美味しい!!看板娘
もいるので、ぜひ一度食べて
みてください!

《お肉屋さんのコロッケ・・・聞いただ
けでよだれがでそう!昔、学校の帰り
に食べた、総菜屋さんの10円コロッケ
を思い出します。》

岩井 玲奈さんのいち推し

- ① 時々行きます。今年の夏にも
行きました。
- ② 遠矢のパークゴルフ場(村田
公園近く)
- ③ 設備が完備されていて、無料。

《うらむ!!難病連レクのために隠れて特
訓するにはもってこいかも・・・?》

渡部 小夜子さん のいち推し

① 暇を見ては

② 天然温泉・スーパー銭湯『宝泉湯』

宝泉湯

鉦路町桂2丁目9番4号

TEL 29-2611

営業時間

平日

朝10時～夜12時

土・日・祭日

朝6時～夜12時

年中無休

料金 大人500円

③

関節痛がいつもいつも「つきま

とっている身体」——

えに痛みが少しでも和らぐ気が

す“温泉大好き”です。温泉と

いうと郊外というイメージがあ

りますが、何と、ここは鉦路市

内（住所は鉦路町）にあるすば

らしい温泉です。誰にでも優し

い設計となっていて、第2回ユ

ニバーサルデザイン賞を受賞

（『福祉の街づくりin鉦路』企

画）。車椅子でも大丈夫です。

ぜひ皆さんも一度ご入浴を！

楽しんでみては！

《なにを隠そう私もよく行きます。低温

サウナと高温サウナに分かれていてリ

フレッシュにはうってつけ。屋上露天

風呂・寝湯なんかもあり、つつい長

湯になりがち。》

今野 悦夫さん のいち推し

① 夏休み

② 厚岸町片無去

③ フォトギャラリー夢風車

鉦路市内写真家大八木さんの

常設写真展を見ながら、コー

ヒー、アイスクリーム、クッ

キーが美味しい。

広々とした大地での一時!!

《季節は秋。アートの親しみながら、食

欲も満喫できる。・・・贅沢です。》

橋本 秀子さん のいち推し

① 今年は8月に2回行きまし

た。

② 鶴居村オートキャンプ場

③ 川と丘と遊具があり、子供が

一日中遊べます。

夜は電灯にクワガタ、バッタ

など集まってきて採集も出来

る。

《オートキャンプ場だからまだ大丈夫。

・・・なわけないから、皆さん来年は是

非!!風邪ひき覚悟なら話は別ですけど

・・・》



いかがでしたか？次号の『特集』も工夫を凝らした記事にしていきたいと思っています。



「コメントは

裏方編集委員

の五十嵐でし

た。」

霧フェスティバルバザー

橋本病友の会 徳泉 敏子

7月15日・16日、国際交流センターで、霧フェスバザーが行なわれました。13日の夕方から、「さわやか釧路」にお手伝い、役員が集合。会員の皆さんから寄せられた善意の品々への値付け作業を開始。私も日頃の主婦業の目線を發揮して品定め？、たくさんあった品を次々と値付けをし、車へと積み込み、終わった時は少々疲れました。

15日は、会場を訪れるお客さん達に声をかけ、値引きのかけ引きなど楽しく、「にわか店員」をしてお手伝いいたしました。

毎年行なわれているバザーですが、近頃はフリーマーケットが流行で、以前程の売上げが出来ないのが、残念と思いました。

一緒にお手伝いした役員の皆さん、品物を提供下さった皆さん、本当にご苦労様。そして有りがとうございました。



ふれあい広場

膠原病友の会 折出 育美

7月30日にふれあい広場が、国際交流センターで行なわれました。

難病連も恒例のごとく参加しました。

私達はホット、アイスコーヒーとジュースを売りました。何故かお隣さんもホットコーヒーを売っているというアクシデントもあり、ホットの方は今一売れ行きが悪かったのですが、体力の有るボランティアの女の子達が重いコーヒーポットを持ち歩いて一生懸命売ってくれました。協力していただいて、とても感謝しています。当日はとても蒸し暑かったので、アイスコーヒーとジュースは良く売れました。

今年も、ふれあい広場という大きなイベントを難病連の人達とのチームワークで楽しく、無事に終える事が出来ました。

皆さん、病気を持っていても気持ちはとても元気で明るくて、健康な人よりも健康人である様に思えてなりませんでした。

健康まつり

支部事務局長 渡部 小夜子

9月17日、国際交流センターを会場に「くしろ健康まつり2000」が開催されました。

市民が自分の健康について振り返り、意識の高揚を目的としているこの会は、鉧路市などが主催、当支部も協力団体として「難病相談」のコーナーを設けています。

又、毎年、この機会に市のご理解でJPC国会請願署名も行なわせていただいています。健康クイズ、みんなの体操などのイベント、フリーマーケット、救急体験コーナーなど、年々プログラムも充実し、多くの市民で賑わっていました。

「相談コーナー」には4名の方が訪れました。私達患者会の活動を知って頂く大切な機会のこの催しで284名の署名もあり、健康に関する様々な知識を得、少々気にしていた「体脂肪」がやっぱり高い値だったことがわかったりと、楽しくお手伝いした一日でした。

合同レク

ベーチェット病友の会 遠藤 源司

9月24日かねてより阿寒支部の方々の尽力による諸準備が進められていると聞き、お誘いを受けて心待ちにしておりました。

私は難病との付き合いは永いのですが催しに参加するのは、昨年標茶での集りに続いて二度目の参加です。永い間闘病生活の中で自分ばかりがと云う思いが強かったのですが最近、会の方々とふれ合いを持つことで私より大変な方々の多いのに気付かされました。

今回も遠く、根室、中標津、標茶、音別、白糠からも多くの方々が参加され、それぞれに健康を気遣いつつ現況を話し合い久しぶりの外出、出合いに心うきうきと話しに花を咲かせる一時でした。こんな事でもなければ外出することもなく、くよくよするばかりと話し合う声も聞かれました。

大半の人はパークゴルフに参加されましたが、私は残った方々と風呂につかるべく赤いベレーの方へ向かったのですが少々遠い気がしました。のんびりと湯につかり、いろいろと話し合いの中に入れて戴きました。

パークゴルフの方々も雨に遭い中止された方も戻られた様でしたが、雨が上り最後迄廻られた由。昼食の時間が少々遅れて焼肉会場へ移動、昼食となったのだが、この間の連絡事情説明が不足で多少戸惑いもあった様ですが、食事中、パークゴルフの結果発表、来年度のレクリエーション担当発表などあり、又のめぐり逢いを約束してそれぞれの会員の車に分乗して帰路に着き楽しい一日でした。



ベーチェット病友の会

部会独自の予定でしたレクリエーションを「道東支部合同レク」参加とし、阿寒で、パークゴルフなどを楽しみました。

釧根肝友会

7/15(土)

~16日(日)

釧根肝友会総会

川湯温泉

参加者17名

8/19(土)

肝ガン検診 福社会館

受診者103名



膠原病友の会

6月11日(日)さわやか釧路で、保健士さんの参加をいただき交流会。8月、機関誌「しつげん」の発行

10月美味しい楽しい昼食会



釧路地方腎友会

5月 総会・通院交通費支給
機関誌「たんちょう」発行

6月 市役所・顧問表敬訪問

7月 日帰りレク於ける中標津

8月 機関誌「たんちょう」発行

9月 釧路市健康まつり参加
道東6地区交流会(予定)



リウマチ友の会

7月29日

旭町総合福祉センターを会場に釧路町さくら眼科院長五十嵐幸子先生による医療後援会開催

9月28日

日帰り旅行会を計画中

多発性硬化症友の会

合同レクに参加

九月二日、福祉会館にて、潰瘍性大腸炎・クローン病友の会（IBD）の相談会と交流会が、鉏路で初めて開かれました。鉏路支部にはまだ、連絡会

支部幹事 鈴木 裕子

「潰瘍性大腸炎・クローン病」相談会

がありませぬので、佐藤支部長を始め、支部役員三名と共に、そのお手伝いに行つて来ました。この時期、鉏路には珍しく蒸し暑い中、患者さんや家族の方、保健婦さん等、約四十名も参加され、用意した座席が足りなくな

こばと会鉏路分会

総会

5月28日（日）

サンアビリティーズ鉏路

昨年度の活動を振り返り、新年度の活動について希望や意見を交換。

（15家族 50名の参加）

夏のレクリエーション（1泊）

9月9日（土）～10日（日）

厚岸少年自然の家（ネイパル厚岸）

ネイパル厚岸の事業に参加するかたちで行い、ソフトクリーム作りやクッキー作りの体験もでき、ゲーム大会、座談会、人形劇観賞等、2日間楽しく過ごしました。

（6家族 20名の参加）

フリーマーケット

9月17日（日） 国際交流センター

鉏路市健康まつりでフリーマーケットを出店しました。会員からの提供品をお客さんと言葉をかかわりながら売る事ができました。（5名参加）

パーキンソン病友の会

9月 十勝ブロックとの交流会開催

橋本病友の会

10月か11月頃交流会の予定

後縦靭帯骨化症友の会

霧フェスティバルバザーのお手伝い

オストミー協会

6月 春採公園にて野遊会
毎月第一土曜日は例会を行っています。

筋無力症友の会

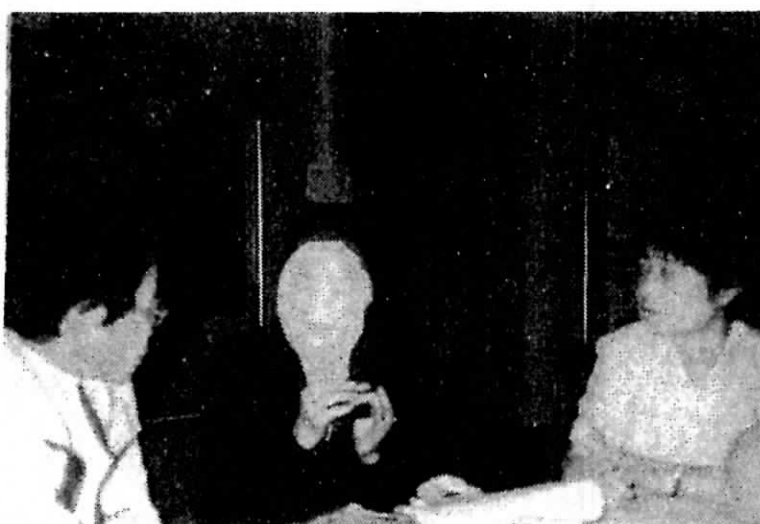
5月13日 友の会集会
於て、福祉会館



〈交流会のようす〉

る程でした。新聞を見て地方からいらした方も多く、札幌や北見からの応援部隊も駆けつけて、盛会に終わりました。

患者さんには若い方が多く、繊維質や脂質が摂れなかったり、色々食事制限があるので、ストレスが貯まったりと、大変な御苦労がある様で、今は何



〈相談にみえた方と〉

でも食べられ太り気味を気にしている自分は、幸せ者だと思えました。

病気の子を持つ親御さんから質問も多く出され、皆さんそれぞれの治療方法や治療薬等を情報交換して、とても有意義な一日だった様に思われました。お世話役が決まり、連絡会発足に向けて動き出した様です。



〈受付のようす〉

病名だけは知っていましたが、この二つの病気の違いや内容迄はよく知らなかったもので、今回お手伝いの機会を得て、とても勉強になりました。今後の治療に少しでも前進があればと、病気は違っても同じ難病患者として、願わずにはいられません。

10月、釧路

難病連が医療講演会

もやもや病など部会設立も

【釧路】北海道難病連釧路支部（佐藤信洋支部長）は、十月七日から二十一日までの毎週土曜日に、釧路市の福祉会館で三回の医療講演会を開催する。講演会をきっかけに、釧路で同じ病を患っている患者や家族が孤立せず、情報交換できる会を立ち上げ、情親を育むことを目指す意向で、広く参加を呼び掛けている。

四月が慢性呼吸機能不全となる低肺 同二十一日が連小脳変性症千六百六十八人、

動失調の症状が表れるせき腫小脳変性症、もやもや病、せき腫小脳変性症は原因不明の難病とされる。札幌の中村記念病院脳神経外科・中川原謙一郎部長ら専門の医師が講師となる。

道内の認定患者（一九九九年三月末現在）はもやもや病三百六十三人、せき腫や病三百六十八人、せき腫

釧路管内の認定患者（今年三月末現在）はそれぞれ二、十一人、六十八人おり、低肺も百人ほどいるとされている。

同支部は難病ごとに十五の部会を設立し、患者に情報交換の場を提供してきた

が、この三つの病気が、まだ部会がなく、佐藤支部長は「患者や家族に講演会への参加を呼びかけ、会の発足に向けた動きを上げた」と話している。問い合わせは同支部 ☎0154・25・2012。

釧路新聞

共に難病と闘おう！

腸の粘膜に強い炎症が起り難病とされる、かじょう性大腸炎とクローン病患者の釧路地域では初の交流会が、北海道難病連釧路支部（佐藤信洋支部長）などの主催で九月二十一日午後一時から釧路市福祉会館で実施される。同支部ではこのほか十月末までに、もやもや病など三つの難病の医療講演会を開催し、各病の友の会発足に向け準備を進める予定で、難病患者とその家族に「ともに闘おう」と参加を呼び掛けている。

道難病連釧路支部

道難病連には現在、病氣別に三十の部会があるが、ほとんどの部会が札幌市にあり釧路地方の患者の交流が困難なことから、同支部独自の十五の部会を設けている。しかし、まだ部会が設けられていない、難病の患者からも、交流や情報収集を求める声が上がってきていることから、今年度、新たに、四つの部会発足の準備を進めることになった。

クローン病 大腸炎 性大腸炎 2日

二日に釧路地域では初の相談会と交流会を行うか、かじょう性大腸炎の認定患者は、釧路管内では百二十八人と、同会への参加を呼び掛けている。

「難病の苦しさから、患者や家族は孤独に陥りがち。同じ悩みを持つ仲間と励まし合うことで、病と向き合う一歩にしてほしい」と佐藤支部長は呼び掛けている。問い合わせは25

校生活や就労活動への影響も懸念されていることから、同支部では、患者や家族が相互に励まし合い、情報交換することで、長期療の医療講演会を開催し、釧路支部結成に向けた一歩とする。

医療講演・相談会

場所＝福祉会館（幸町9-1） 参加＝無料
問合先＝北海道難病連釧路支部（☎25-2012）

| 日 | 時 | テーマ | 講師 |
|--------|---------|---------|--------------------------|
| 7日(土) | 午後1時～5時 | もやもや病 | 中村記念病院 脳神経外科部長 中川原謙二氏 |
| 14日(土) | 午後1時～4時 | 低肺 | 道東労働福祉協議会 立清院 内科部長 黒川聡則氏 |
| 21日(土) | 午後1時～4時 | 脊髄小脳変性症 | 北拓会病院 神経内科 川島 淳氏 |

平成12年10月1日
釧路市広報

平成12年8月29日付け
北海道新聞

新たに4つの部会を

命のボランティア広がる

「さわやか通院介 護」マイカー送迎 スタート1年過ぎる

軽度患者が重度者を支援

生命持続のために週三回の透析を要する腎臓病など難病患者の通院をマイカーで支援しようと、道難病連と釧路地方腎友会が昨年、釧路市内に開設した通院介護支援センター「さわやか通院介護」(松浦町九の二〇)が設立一年を過ぎた。現在登録するボランティアは二十一人。まだその数は足りないものの、ボランティアのうち、ほぼ半数は自らも病を抱える人たち。軽度の患者が重度の人たちを支える形で、命のボランティアの輪が広がっている。

登録のボランティア21人

同センターは昨年六月、週に三回の透析を要する腎臓病患者のうち、高齢者や病の進行で自家用車の運転、バスの利用が困難となった人への、マイカーによる通院支援として、道内で初めて設立された。

早期、高齢の透析患者の自宅をボランティアがマイカーで迎えに行く。自分も病気だと、元氣だから」と笑顔で話す

年会費五百円で登録した会員が、利用距離により三五百円または五百円を事務局

に寄付し、その半額がボランティアに燃料費補助として支給される。道外ですでに複数の都市で実施されているシステムだ。



今年から難病患者にも対象を広げ、現在、登録患者は四十一人。うち八人が腎臓病で、三人がリウマチや

パーキンソン病などの難病。ボランティアに登録する二十一人のうち、十一人は自らも腎臓病や難病を抱えている。七月だけで百二十四回もの支援を行っている。足が不自由になった妻のために支援を依頼している七十代の男性は「タクシーでは通院費がかなりの負担。経済的にはもつた。同じ病を持つ人たちの、われわれの病気を理解しなごらの心遣いがとてもうれしい」と話す。

道難病連釧路支部の佐藤信洋支部長は「営業車による通院は透析だと月額五万円ほどかかり、市からの一万円ほどの補助では賸りきれない。重度の人や高齢者は、就職も難しく経済的にかなりの負担。自分も重くなった時には支援が必要」といって、元氣な患者の間にボランティアの輪が広がっている」といふ。

しかし、まだボランティアは足りず、希望者の二割は断っている状況だ。この輪を健常者にも、もっと広げたい」と、佐藤支部長は市民のさらなる協力を呼び掛けている。同センターへの問い合わせは道難病連釧路支部25-2001へ。

あとがき

◎ 澄み渡る空。そんな言葉がびつたり
の時期になってきました今日この頃。
これから食欲の秋でしょうか？

◎ 最近ではテレビ新聞などで10代の犯罪
など大きなニュースもありますが、そ
んな中パーキンソン病患者さんに電気
刺激で震えを抑制の朗報もあります。

◎ 難病も私が知っているだけでも30以上
はあるのではないかと思います。これ
から一つでも、二つでも難病の人達に
朗報がある事を願いたいですね。

◎ 釧路もこれから寒さに向かいますが、
会員の皆様も体調に十分気をつけて冬
をのりきって下さい。

《内山 由貴子》

◎ 今年も水着になる事もなく夏が終っ
てしまいました。

◎ 夏の思い出は、子供の付き添いで初め
て救急車に乗った事でしょうか。今は
元気で学校に通っていますが、本当に
ドキドキしました。

◎ 来年は違うドキドキを味わいたいもの
です。

《野澤 美奈子》



◎ 今回初めて「巻頭言」を担当。

◎ ギリギリまで何を書こうか悩んだ結果
：やっぱり自分の身近かなことに落ち
つきました。

◎ 「巻頭言」らしくないですが読んで
下さいね。

《橋本 秀子》

◎ 霧フェス、ふれあい広場、全道集会、
合同レクと、行事が目白押しだったこ
の三ヶ月間。参加者の方々の一文にあ
るように、どの催しも参加してみると
楽しい筈。病を持つ者同志のいい知れ
ぬ友情が生まれます。釧路支部として
の行事は、13年2月の新年交流会です。
ちと気が早いけれど、あなたの参加を
待っています。

◎ 「なんれんくしろ」が、マンネリズ
ムにならないよう編集員一同、コーヒ
ー一杯：喫茶店の片隅で？時間もはば
って、アイデアを出しあっています。
楽しい企画などお寄せいただければと
っても嬉しい！

◎ 30号は870部の発行です。

★表紙について・・・

橋本 衛さん(秀子さんご主人)
による温かいイラストです。

7つのスローガン

- ☆国と道は、原因の究明と治療法の確立を急いで下さい！！
- ☆すべての難病の治療を公費負担にして下さい！！
- ☆介護手当の支給と通院交通費、付き添い費の補助を！！
- ☆患者、障害児者の教育の選択権を親と子に！！
- ☆医療過誤、薬害を無くし被害者救済を！！
- ☆北海道の総合的な難病対策の確立を一日も早く！！
- ☆広く道民と手を結び明るい社会福祉を実現させよう！！



財団法人——北海道

難病連

HSKなんれんくしろ

HSKなんれんくしろ 第30号

昭和48年 1月13日第三種郵便物認可

編集人 財団法人北海道難病連釧路支部

平成12年 10月10日 発行/HSK通巻343号(毎月 1回10日発行)

釧路市松浦町9-20 Tel 0154-25-2012

発行人 北海道身体障害者定期刊行物協会 細川久美子

(870部印刷)

札幌市中央区北9条西19丁目55番/Tel 011-622-5190